FUNRIDE ファンライド
マルチメディアオーディオプレイヤー
MA650

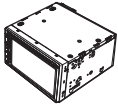
取扱説明書

RESET
micro SD
MENU
USB
SRC
+
VOL
–
DISP
SEL
AUX
FUNRIDE
MA650

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

DVD
VIDEO
MP3 Mpeg4

はじめに

このたびは、ファンライド マルチメディアオーディオプレイヤーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
はじめに、この説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

目次

同梱品

ご使用の前に付属品がそろっていることをご確認ください。

本体 ×1

リモコン ×1
（CR-2025 電池付属）

※付属電池は動作テスト用です。

フロント接続用
AV コード ×1

フロント接続用
USB コード ×1

電源ハーネス ×1

外部ビデオ入力
ハーネス ×1

オーディオ出力
ハーネス ×1

AV 出力ハーネス ×1

取付ネジ ×8
（M5×6：皿ネジ）

取付ネジ ×8
（M5×6：座付ネジ）

取扱説明書（本書）×1

オプション

iPod 接続コード ×1

部品番号：MA-IP2

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。
本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

⚠ 警 告

※ 本機の取り付けには専門知識が必要です。販売店にご依頼ください。

禁止

本機はDC12V、マイナスアース車専用です。それ以外の車種に接続しないでください。
火災や、故障の原因となります。

実施

配線作業はバッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電や、けがの原因となります。

実施

配線は取扱説明書に従って、正しく行ってください。
火災や、事故の原因になります。

禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。
火災や、故障の原因となります。

禁止

運転の視界を妨げる場所や、運転の操作に支障の出る場所に本体やアンテナ等の設置、配線をしないでください。
事故や、怪我の原因となります。

禁止

アース線の接続を、ハンドル部、ブレーキ部、タンクなどのボルトやナットに取り付けないでください。
事故や、車両の故障の原因となります。

禁止

電源配線用コードは延長しないでください。
電流容量を超えて、ショート事故による感電や、けがの原因となります。

実施

本機の操作をするときは、車両を安全な場所に停車してから行ってください。
事故の原因となります。

実施
運転中は車外の音が聞こえる程度の音で使用してください。
外部の音が聞こえないと事故の原因となります。

実施
修理は必ず購入店に依頼してください。
お客様による修理は保証の対象外となるばかりでなく、火災や、事故の原因となります。

禁止
本機の分解や、改造をしないでください。
火災や、事故の原因となります。

実施
ヒューズの交換は必ず規定の容量を守ってください。
火災や、事故の原因となります。

実施
電池や、ネジ類などは幼児の手の届かないところに保管してください。
万一飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。

実施
煙が出る、変な匂いが出る、異物や水が入った、などの異常があった場合はただちに使用を中止し、販売店に相談してください。
そのまま使うと、火災や、事故の原因となります。

⚠ 注 意

本機の取り付け終了後は車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパー、などが正常に作動することを確認してください。
確認せずに使用すると、事故や、故障の原因となります。

ディスク挿入部に手や指を入れないでください。
怪我の原因となります。

禁止
本機に強い衝撃を与えないでください。
怪我や、故障の原因となります。

水のかかるところ、ほこりの多い所などに設置しないでください。
故障の原因となります。

使用上のご注意

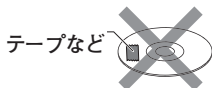
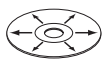
- ◆ **運転中は、ディスプレイなどを注視しないでください。事故の原因となります。**
- ◆ **オートアンテナの接続をしてある場合は、天井の低い車庫などに入れるとき、本機の電源を切ってください。**

本機のお手入れ

本機が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと洗剤を良くふき取ってください。
アルコール、シンナーなどの溶剤で拭くとパネル面などに傷が付いたり文字が消えたりすることがあります。

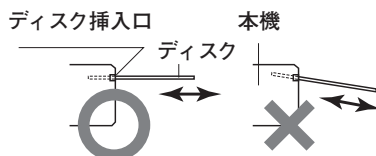
取り扱い上のご注意

・ ディスクを汚さないように記録面に触れないようにしてください。（ディスクの外周に指をかけて持つようにしましょう。）
・ 変形したディスクを使用しないでください。

・ ディスクが汚れた場合は柔らかい布などで下の図のように放射状に拭いてください。
・ ディスクに紙や、テープを貼らないでください。

ディスクを次のような場所に放置しないでください。

● 直射日光の当たる場所や、車両のダッシュボードの上など高温になる場所。
● ほこりや、汚れの付きやすい場所。

ディスクを挿入したり、取り出すときは

本機のディスク挿入口にディスクをセットするときは水平に出し入れしてください。斜めに出し入れするとディスクが傷つく恐れがあります。

本機で再生できるメディアについて

本機では下記のメディアを再生することができます。

メディア	規格・ロゴマーク		
DVD	DVDビデオ	DVD-R	DVD-RW
CD	オーディオCD	CD-R	CD-RW
その他のメディア	USBメモリー（16GBまで）、microSDカード（16GBまで）、外部AV入力（アナログ）、iPod		

対応フォーマット	
映像+オーディオ	MPEG-2、MPEG-4（AVI）
オーディオ	MP3、WMA
画像	JPEG

※ SDメモリーカードはSDアソシエーションの登録商標です。

【ご注意】

※ ディスクにキズ、汚れなどがある場合、再生できないことがありますのでご注意ください。
※ 本機では8cmディスクは再生できません。8cm用アダプターは使用しないでください。
※ 本機はCPRM対応のディスクを再生することができます。CPRM対応ディスクでは再生が始まるまで多少時間がかかることがあります。
※ ファイナライズ（クローズセッション）処理をしていないDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWは再生できません。
※ DVDビデオ、CD-DA（オーディオCD）、ビデオCDはそれぞれ上記のロゴマークの表示されているディスクをお使いください。規格外ディスクの場合、製造メーカーあるいはメディアのバージョンによって再生できない可能性があります。
※ MP3、JPEGなどのデータファイルはディスクまたはメモリーの製造メーカー、書き込みソフト、OSなどにより再生できない場合があります。
※ DVD再生時のDTS音声には対応していません。
※ USBメモリー、SDカードを使用してビデオ再生する際、画像解像度によっては再生できない場合が有ります。
※ 画面表示サイズ選択により発生するブランク部分は、画面上の上下左右が均等でない場合があります。
※ JPEG画像を表示する際、縦横比が維持されない場合があります。

【ディスクの基礎知識】

トラック

CDは複数のトラックに分けられています。通常１つのトラックは１つの曲に対応しています。そのため、本書で「次のトラックに飛び越す」とは「次の曲に飛び越す」ことと同じ意味となります。また、クラシックの交響曲などでは１つのトラックは１つの楽章に対応しています。
CDによっては複数のトラックに分けられていないものもあります。

チャプター

DVDビデオではディスクをシーンごとに複数のチャプターに分けられています。チャプターはCDのトラックに相当します。DVDによっては複数のチャプターに分けられていない場合もあります。

タイトル

DVDビデオでは複数のチャプターを１つにまとめて、１つのタイトルとしてあるものがあります。例えば１枚のディスクに２つ以上の映画を収納してある場合、１つの映画を１タイトルとし、１つの映画の中のシーンを複数のチャプターに分けてあります。DVDによっては複数のタイトルに分けられていない場合もあります。

DVDのリジョンコードについて

DVDビデオソフトおよび再生機器には国や地域ごとに分けられたリジョンコードが記録されています。ビデオソフトのリジョンコードと再生機器のリジョンコードは一致していないと再生できません。
日本に割り当てられたリジョンコードは「2」で、本機のリジョンコードも「2」に設定されています。
DVDソフトのジャケットに右の図のようなマークのあるディスクが再生できます。
（「ALL」とは全地域で再生できるディスクを表します。）

【DVDディスクや、画面に表示される表示について】

③:DVDに記録されている音声言語数を表します。

4:DVDに記録されている字幕数を表します。

:複数のアングル（撮影角度）で記録されているディスクや、そのシーンに表示されます。

: DVD再生中、ソフトによって禁止されている操作をしようとしたときに画面に表示されます。

【地域によるビデオ信号の記録方式について（NTSC/PAL）】

ビデオ信号の記録方式は、国や地域によって２つの方式に分かれています。
ビデオ信号の記録方式が異なると正常に表示できません。

NTSC方式 ：日本、アメリカ、台湾、韓国、カナダなどで採用されている方式です。
PAL方式 ：イギリス、欧州、オーストラリア、シンガポールなどで採用されている方式です。

本機では自動判別を行いますので設定の必要はありません。

【データファイルについて】

本機で再生できるファイル

音声　：MP3　：音声を1/10以下に圧縮する技術で、一番広く普及している音声圧縮技術です。
　　　　WMA　：マイクロソフト社が開発した音声圧縮方式。約1/22(64kbps)まで圧縮することが可能で、音質を犠牲にすればさらに高い圧縮率を得ることもできるとされています。
静止画：JPEG　：静止画を効率よく保存します。ほとんどのデジカメ画像がJPEGで保存されています。
映像　：MPEG2　：映像圧縮技術の一つで幅広くDVD-videoやデジタルテレビ、BS放送などに使われています。
　　　　MPEG4　：圧縮率の高い圧縮技術で、携帯電話などにも使われております。様々なコーディック（圧縮伸張プログラム）が公開されています。

※ 著作権保護機能が付加されたデータの再生はできません。

ファイル作成時のご注意

・ファイル名やフォルダー名を付けるときはWindowsの規則に従ってください。

・ファイル名には適切な拡張子を付けてください。例えばMP3ファイルに「.jpg」など異なったファイル用の拡張子を付けることは絶対に避けてください。

MP3ファイル：「.mp3」
JPEGファイル：「jpg」または「jpeg」
MPEG4、DivXファイル：「.avi」

・ディスクに書き込んだときはファイナライズまたはセッションクローズを行ってください。ファイナライズなどの方法は書き込みソフトの指示に従ってください。

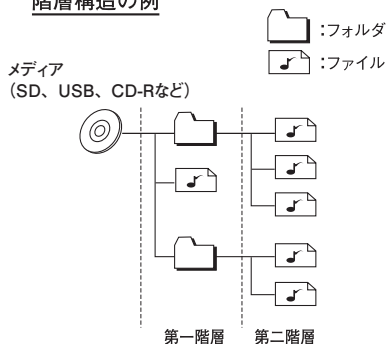
■ 本機の対応していないファイル形式が混在しているメディアは、本機で読み込めません。

【ご注意】
書き込みソフトや、PC、OSのバージョン、USBメモリーのメーカーなどによっては本機で再生できないことがあります。

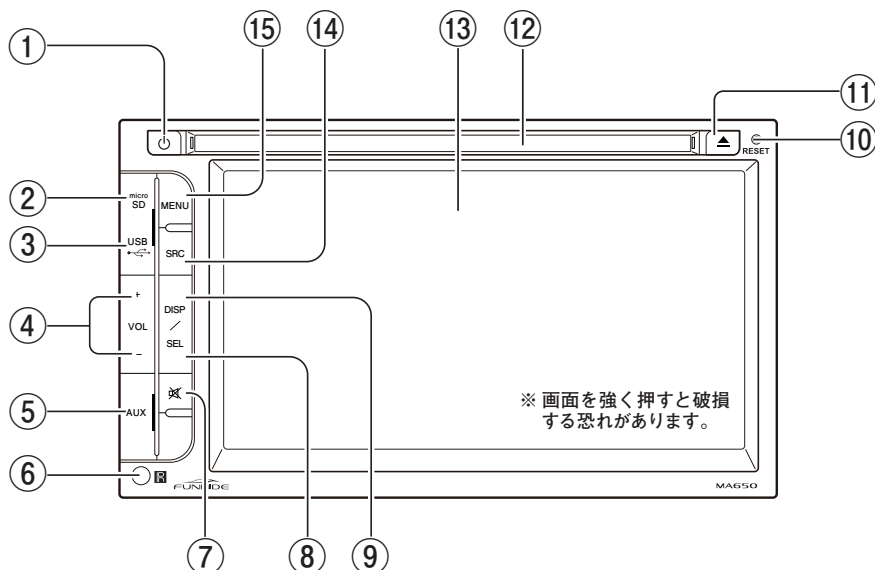
データファイルの階層構造について

MP3、JPEGなどのデータファイルは、通常1つのフォルダまたは複数のフォルダに納められ、右の図のように階層構造で記録されることが一般的です。
再生するときはフォルダーごとにファイルを選んで再生します。詳しくは「メディアを再生する」（18ページ～26ページ）をご参照ください。

※ 本機で再生する場合、階層は2階層以上作らないでください。

階層構造の例

各部の名前

本体

フロントパネル

① ⏻(電源) ボタン
電源のオン／オフをします。
ディスク、SDカード、USBメモリーが接続されている時は、その各ソースに切り替えることが出来ます。

② microSD(マイクロ)カード挿入部

③ USB接続端子

④ VOL(ボリューム)(音量) ボタン
音量の調節をします。

⑤ AUX（前面外部入力）端子
オーディオ・ビデオ入力端子です。
（アナログ信号）

⑥ リモコン受光部

⑦ MUTE(ミュート)（消音）ボタン

⑧ SEL(セレクター)（音質選択）ボタン

⑨ DISP(ディスプレイ) ボタン
一度押すとディスプレイ表示は明るさを落としたナイトモードになり、もう一度押すと元の明るさになります。

⑩ RESET(リセット) ボタン
すべての設定を工場出荷状態に戻すときに使います。

⑪ ⏏(イジェクト) ボタン

⑫ ディスク挿入部

⑬ カラー液晶表示部

⑭ SRC(ソース) ボタン
各ソースの切り替えをします。

⑮ MENU(メニュー) ボタン
メニュー設定をします。

リモコン

① PWR（パワー）（電源）/SOURCE（ソース）ボタン

電源のオン／オフと、各ソースの切り替えをします。

② GOTO（ゴーツー）ボタン

トラックまたは時間を指定してジャンプ。

BAND（バンド）/TITLE（タイトル）ボタン

AM/FMチューナー受信時：バンド切替。

DVD再生時：タイトルメニュー表示。

③ AMS/MENU（メニュー）ボタン

AM/FMチューナー受信時：オートサーチ。

DVD再生時：メニュー表示。

LOC（ローカル）/SUB-T（サブタイトル）ボタン

AM/FMチューナー受信時：感度切替。

DVD再生時：字幕表示。

ST（ステレオ）/AUDIO（オーディオ）ボタン

ステレオ / モノ切替／音声言語切替。

④ ANGLE（アングル）ボタン

DVDディスクにアングルが記録されているときに切り替えます。

OSD（オンスクリーン表示）ボタン

DVDのチャプターと時間の表示をします。

⑤ ZOOM（ズーム）ボタン

II▶（スロー再生）ボタン

⑥ 📷ボタン

壁紙設定。

⑦ 🔇（消音）ボタン

⑧ EQ（イコライザー）ボタン

LOUD（ラウドネス）ボタン

⑨ ⏏（イジェクト）ボタン

⑩ 数字ボタン

⑪ CLEAR（クリアー）ボタン

⑫ ENTER（エンター）/▶（入力確定／再生開始）ボタン

▲/▼（上下）方向/|◀◀/▶▶|（スキップ）ボタン

◀/▶（左右）方向/◀◀/▶▶（早戻し／早送り）ボタン

⑬ SETUP（セットアップ）ボタン

1回押し：DVDの初期設定をします。

長押し：メニュー設定をします。

⑭ II（一時停止）ボタン

■（停止）ボタン

⑮ PROG（プログラム）（プログラム再生）ボタン

RPT（リピート）（リピート再生）ボタン

RDM（ランダム）（ランダム再生）ボタン

⑯ VOL+/VOL-（ボリューム）（音量）ボタン

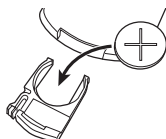
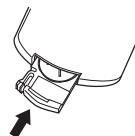
SEL（セレクター）（音質／音量バランス選択）ボタン

リモコンの使いかた

【電池を入れるには】

1. 電池ホルダーを外す
リモコン背面の矢印の部分を押しながら電池ホルダーを引き出します。

リモコン背面

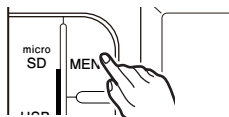
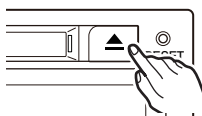
2. 電池を入れる
＋端子を上にして入れます。

3. 電池ホルダーを閉める

■ 電池は「リチウムボタン電池」CR2025を使用してください。
■ 電池は充電しないでください。
■ 使用済みの電池はお住まいの自治体の規定に従って廃棄してください。
■ お子さまが飲み込んだりしないようにご注意ください。

【操作範囲について】

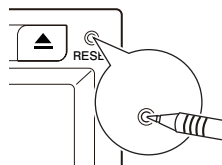
■ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
■ ボタンを押すときは１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。
■ リモコンのボタンを押しても動作しにくくなったときは、電池を交換してください。

ディスクを強制的に取り出すには

本体の▲（イジェクト）ボタンを押してもディスクが取り出せないときは次のようにしてディスクを取り出してください。

1. 本体のMENUボタンを押して入力をチューナー（ラジオ）に切り替える。

2. 本体の▲（イジェクト）ボタンを押すまたは長押しする。

リセット操作をする

本機を初めてお使いの時や、車両のバッテリーを交換したときは本体のリセットボタンを押して本機をリセットしてください。

■ 何らかの原因で誤動作した場合はリセット操作を行ってください。
■ リセットをすると時計表示や、ユーザー設定が工場出荷状態になります。
（17ページを参照して時刻設定を行ってください。）

先の尖ったものでRESETボタンを押す。

ご使用の前に

ご使用の前に本機を車両に取り付けて、配線を正しく行ってください。(42～43ページ参照)
本機の取り付けと、配線をするには専門的な知識が必要です。必ず販売店や、カーディーラーなどにご依頼ください。

車載機器との連動について

ブレーキコントロール機能

本機の「PARKING BRAKE(パーキング ブレーキ)」線は車両のサイドブレーキスイッチに接続しておく必要があります。(接続図42ページ参照)
サイドブレーキが引かれている場合のみ画面が表示されます。
バックビューモードではブレーキコントロール機能は解除されます。

バックビューモード

本機の「REVERSE(リバース)」線を車両のバック出力信号線に接続し、カメラ入力を接続しておくと、リバースギアに入れると自動的にカメラ映像が本機の液晶表示部に表示されます。

■ バックビューモードのときは、音量調整機能のみ動作します。ブレーキコントロール機能は働きません。

※ バックカメラは別売です。

オートアンテナ機能

本機の「ANTENNA POWER(アンテナ パワー)」線を車両のオートアンテナに接続しておくと、本機の電源が入ったときに自動的にアンテナが伸びて、受信し易くなります。

■ 天井の低い車庫などに入れる場合、本機の電源を切ってください。

オートイルミネーション機能

本機の「LAMP IN(ランプ イン)」線を車両の車幅灯電源に接続しておくと、車両の車幅灯を点灯したとき、本機のボタン類のイルミネーションが自動的に点灯します。

※ 16ページのPANEL LIGHT設定がONの場合

ボタンの押しかたの表記について

「**押す**」(または「**1回押す**」):ボタンを押してすぐ離します。
「**長押しする**」:2～3秒間ボタンを押し続けます。
※ 本機は感圧式タッチセンサーですので、押し方が軽すぎる場合反応しないことがあります。

使用できる機能の表示について

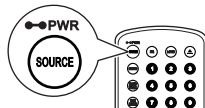
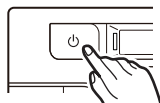
この説明書では下の図のようなマークで使用できるメディアを表しています。

CD:CDで使用できる機能　DVD:DVDで使用できる機能
SD:SDカードで使用できる機能　USB:USBメモリーで使用できる機能
MP3:MP3で使用できる機能

基本操作

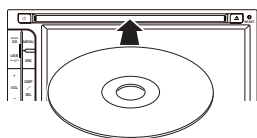
はじめに本機の基本的な操作を覚えてください。

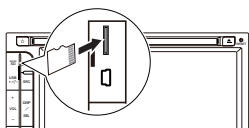
1 電源をオンにする

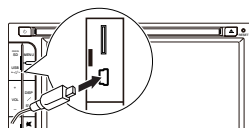
本体の⏻ボタンまたはリモコンのSOURCE(ソース)ボタンを1回押すと電源が入ります。

電源をオフにするときは本体の⏻ボタンを「長押し」するか、またはリモコンのSOURCEボタンを長押しします。

2 再生するメディアをセットする

CD、DVD、マイクロSDカード、USBメモリーなどのメディアをセットします。

ディスクをセットするとき

※ 外形8cmのディスクは使用できません。

マイクロSDカードをセットするとき

※ マイクロSDカードのみ使用できます。

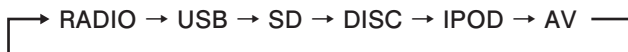
USBメモリーをセットするとき

※ USBメモリーは変換コードを使ってミニUSB-B端子に変換して接続してください。

■ 電源オンの時、ディスクを挿入したりUSBメモリーなどを接続すると自動的に接続したメディアに切り替わります。

■ ディスクを挿入したときは自動的に再生が始まります(18ページ)。

3 入力を切り替える

本体のSRCボタンまたは、リモコンのSOURCEボタンを押すごとに入力が切り替わります。

→ RADIO → USB → SD → DISC → IPOD → AV ─┘

※ディスクが挿入されていないとき、またはメディアが接続されていないときは選択出来ません。
※モード切り替え時、画面が一瞬乱れますが故障ではありません。

タッチパネルで入力を切り替えるとき

メディアを再生中にディスプレイ左下の◎マーク(ホームボタン)を押すと入力選択画面に切り替わります。(DVD、MP4再生中は画面上部に触れると◎マークが表示されます。)

1. ◎マーク(ホームボタン)に触れます。

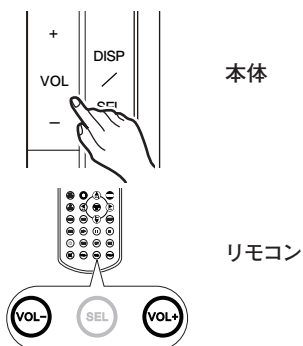
2. 画面に触れ指を水平にスライドさせると、入力選択画面が切り替わります。

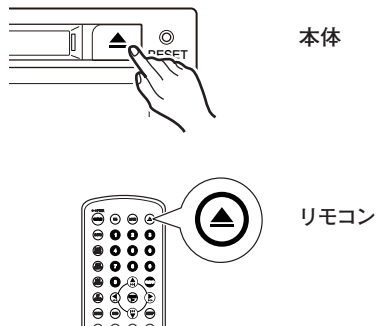
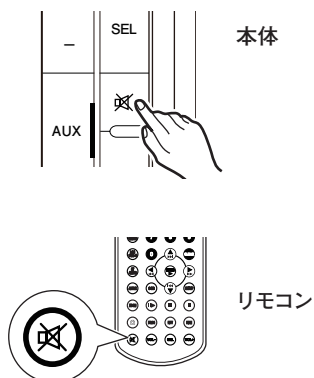
3. アイコンまたは文字に触れ入力を選んでください。

音量を調節する

本体の＋/－ボタン（リモコンのVOL（＋/－）ボタン）を押します。

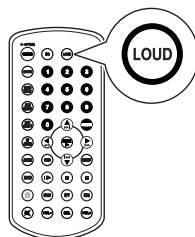
一時的に音を消す

本体の🔇ボタン（リモコンの🔇ボタン）を押します。

もう一度押すと解除されます。

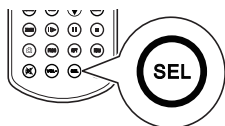
ディスクを取り出す

本体の▲ボタン（リモコンの▲ボタン）を押します。

ラウドネス機能を使う

ラウドネス機能をオンにすると小音量時の音質を補正して聞くことができます。

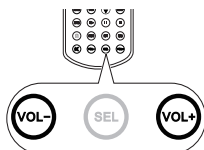
リモコンのLOUD（ラウドネス）ボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

音量バランスや、音質を変更する

左右や、前後の音量バランスを変更したり、低音や、高音の音質を調整します。

① リモコンの SEL ボタンを押します。

ボタンを押すごとに次のように切り替わります。

- VOL: 音量調節
- BAL: 左右の音量バランス
- FAD: 前後の音量バランス
- BAS: 低音の音質の調節
- TRE: 高音の音質の調節
- WOO: サブウーハーレベルの調節

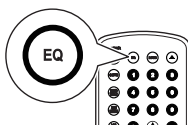
② リモコンのVOL（＋/－）ボタンを押して調節します。

ボタンを押すごとに次のように調節できます。

- VOL 調節時：“00” ～ “64”
- BAL 調節時：“L(左)7” ～ “R(右)7”
- FAD 調節時：“R(後)7” ～ “F(前)7”
- BAS/TRE 調節時：“－7” ～ “7”
- WOO調節時：“0” ～ “14”

■ SELボタンを押した後3秒以上操作をしないと元の状態に戻ります。
■ メインメニュー画面（15ページ）で操作することもできます。

イコライザー機能を使う

音楽ジャンルに合わせて「ポップ」、「クラシック」、「ロック」などの音質に変えて楽しむことができます。

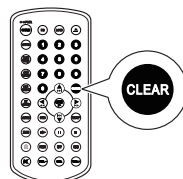
EQ ボタンを押します。

押すごとに次のように切り替わります。

- POP（ポップ）
- CLASS（クラシック）
- ROCK（ロック）
- 表示なし、またはNONE（解除）

■ メインメニュー画面（15ページ）で操作することもできます。

入力し直すときは

操作中間違った入力をしたときはCLEAR（クリアー）ボタンで取り消します。

リモコンの CLEAR ボタンを押します。

音声や画面の各種設定をする（メインメニュー設定）

音声や画面の各種設定をします。

メインメニュー設定をするときは、選択メニュー画面上でSETUP（セットアップ）アイコンにタッチするとセットアップ画面になります。

設定内容は次の項目が設定できます。

設定内容

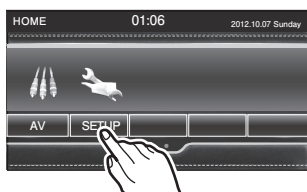
項目	内　容	調整範囲	初期値
[AUDIO（音声設定）]			
TREB	「＋」、「－」ボタンにタッチして高音の調整をします。	-7～+7	5
BASS	「＋」、「－」ボタンにタッチして低音の調整をします。	-7～+7	5
SUB WOOFER	「＋」、「－」ボタンにタッチしてサブウーハーの調整をします。	0～14	0
EQ	◁、▷ボタンにタッチしてイコライザーの選択をします。 OFF→POP→CLASSIC→ROCK→OFF	左記参照	OFF
FRONT	音量のバランスを前方に移動します。		
REAR	音量のバランスを後方に移動します。		
L	音量のバランスを左に移動します。		
R	音量のバランスを右に移動します。		
LOUD	ラウドネス（低音補正）をON/OFFします。	ON/OFF	OFF
[VIDEO（画面設定）]			
BRIGHTNESS	「＋」、「－」ボタンにタッチして明るさを調整します。	0～100	50
CONTRAST	「＋」、「－」ボタンにタッチしてコントラストを調整します。	0～100	50
COLOR	「＋」、「－」ボタンにタッチしてカラーを調整します。	0～100	50
RESET	「RESET」ボタンにタッチすると工場出荷時の設定に戻ります。		
SAVE	「SAVE」ボタンにタッチすると変更内容が保存されます。		
[TIME（時刻設定）]現在日時の設定をします			
DATE ADJ	「＋」、「－」ボタンにタッチして現在年月日を設定します。	（17ページ参照）	
CLOCK ADJ	「＋」、「－」ボタンにタッチして現在時刻を時、分、秒の順に設定します。	（17ページ参照）	
TYPE	◁、▷ボタンにタッチして24 HOURまたは、12 HOURを選びます。	（17ページ参照）	
[SCREEN ADJ（スクリーンタッチ位置補正）]		（17ページ参照）	
	表示される⊕マークを順番にタッチして最後にOKボタンをタッチします。 タッチ位置にズレを感じた場合、この操作をすることにより補正が可能です。		

設定内容（つづき）

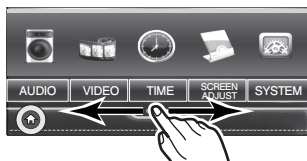
項目	内　容	初期設定
[SYSTEM（システム）]システム全般の設定をします。		
KEY BEEP	「ON」、「OFF」ボタンにタッチしてリモコンと本体ボタンの操作音オン/オフを設定します。	ON
BRAKE DETECT	本機では使用しません。初期設定「ON」の状態でお使いください。	ON
PANEL LIGHT	「ON」、「OFF」ボタンにタッチしてオートイルミネーション機能のオンオフを切り替えます。	ON
REVERSE POLA	◁、▷ボタンにタッチしてバックギア電源の極性を切り替えます。	BATTERY
AMS FULLUP	「ON」、「OFF」ボタンにタッチして放送局のメモリーを固定するか決めます。	OFF
LOCAL AREA	◁、▷ボタンにタッチして使用する地域を選択します。	JAPAN
REVERSE DETECT	初期設定”OFF”のままでご使用ください。 本機でこの機能は使用しません。	OFF
[DEFAULT（デフォルト）]		
	現在のソフトウェアの確認ができます。	

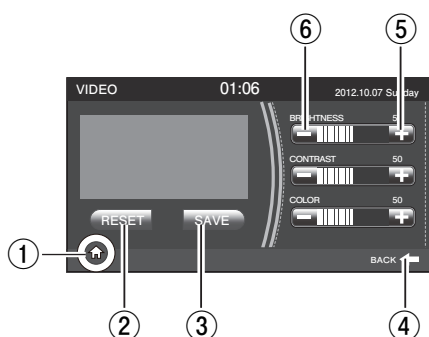
設定画面の操作方法

1 選択メニュー画面上でSETUPアイコンにタッチする

セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面

2 設定する項目のアイコンにタッチする

画面に触れ指を水平にスライドさせると、セットアップ画面が切り替わります。

3 ディスプレイ上のボタンを操作して設定を変更する

同様の操作で他の項目の設定も変更できます。

① 「◎」ボタン（ホームボタン）にタッチすると入力選択画面に戻ります。

② 「RESET」ボタンにタッチすると変更した内容を取り消します。

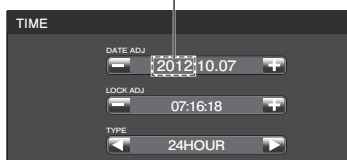
③ 「SAVE」ボタンにタッチすると変更内容が保存されます。

④ 「BACK ⇦」ボタンにタッチするとセットアップ画面に戻ります。

⑤ 「＋」ボタンにタッチすると設定値が増加します。

⑥ 「－」ボタンにタッチする設定値が減少します。

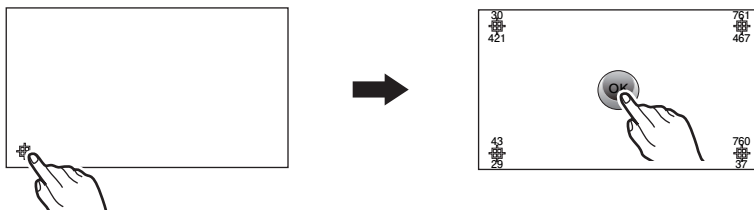
[TIME（日時設定）]の合わせ方

年・月・日および時・分・秒のいずれかにタッチすると四角の枠が表示され、数字が変更できるようになります。

・TIME設定画面が表示されたら年表示にタッチして「＋」、「－」ボタンを使って「年」を合わせます。同様にして月日と時刻を合わせます。

・TYPEの「◁」または「▷」ボタンで24時間表示と12時間表示の切替ができます。

※ 時計の誤差は1日6秒程度あります。

タッチパネルが反応しない、または位置がずれたと感じた場合には下記の操作をしてスクリーンアジャストを行ってください。

[SCREEN ADJ（スクリーンタッチ位置補正）]操作

初めに表示されている左下の ⌖ マークにタッチすると反時計回りに ⌖ マークが表示されます。最後に OKボタンにタッチして操作を完了してください。

メディアを再生する

CD、DVD、SD カードおよびUSB メモリーの再生手順です。

1 再生するメディアをセットする(12ページ参照)

CD、DVD、SD カード、USB メモリーなどのメディアをセットします。

電源オンの時、ディスクを挿入したりUSBメモリーなどを接続すると自動的に接続したメディアに切り替わります。ディスクを挿入したときは自動的に再生されます。

2 入力を切り替える(12ページ参照)

本体の **SRC** ボタンまたは、リモコンの **SOURCE** ボタンを押すごとに入力が切り替わります。

※ディスクが挿入されていないとき、またはメディアが接続されていないときは選択出来ません。

※モード切り替え時、画面が一瞬乱れますが故障ではありません。

3 再生する

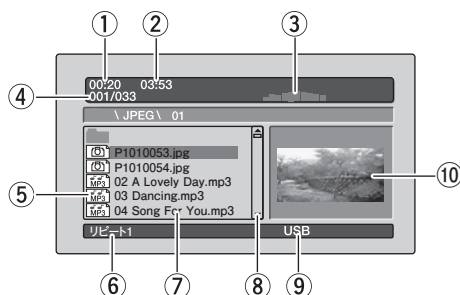
[ディスクを再生する場合]

ディスクの情報が読みとられた後、自動的に再生が始まります。

DVDメニューでメニューを選択する画面が表示された場合は画面の内容を選んで再生します。

入力を切り替えるなどして自動的に再生が始まらないときは **ENTER▶** ボタンを押します。

[SD カード、USB メモリーを再生する場合]

データファイルを認識するとデータ再生画面が表示されます。

① 再生経過時間
② ファイルの総時間
③ スペクトラムアナライザーイメージ表示
④ 再生中のファイル番号 / 総ファイル数
⑤ ファイルタイプのアイコン
⑥ リピート、ランダム表示
⑦ ファイル名（フォルダー名）
⑧ スクロールバー
⑨ メディアのタイプ
⑩ ファイル情報

表示画面でファイルを選択するときは停止中に操作します。

■ JPEG画像を選択すると右側にサムネール画像（縮小された画像）が表示されます。

【ご注意】

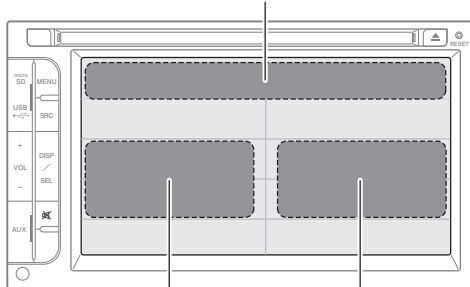
※ 本機で再生できないフォーマットのフィルが記録されているメディアの場合、そのメディアに記録されている全てのファイルが再生出来ない可能性があります。
対応フォーマットにつきましては5ページを参照してください。

メディアの色々な再生

メディアを再生中に操作画面を表示するには CD DVD

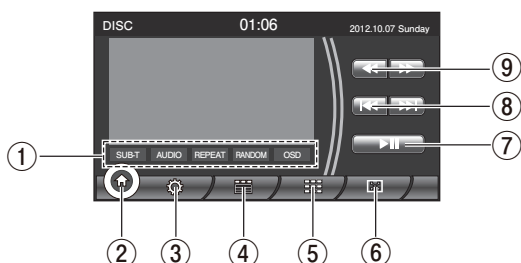
DVD/CDを再生中にディスプレイに触れると色々な操作画面が表示されます。

本体ディスプレイの下図の範囲に触れると操作画面が表示されたり、トラック(曲)のスキップをすることが出来ます。

画面のこの範囲に触れると操作画面が表示されます。

画面のこの範囲に触れると前のトラックやチャプターにスキップします。(⏮動作)

画面のこの範囲に触れると次のトラックやチャプターにスキップします。(⏭動作)

ディスプレイでメディアを操作する CD DVD

DVD/CD再生中にディスプレイの上部(約1/5ぐらい)に触れると図のような操作画面が表示されます。それぞれのボタンにタッチすると下記のような操作ができます。

① 「SUB-T」:字幕表示
「AUDIO」:音声切替
「REPEAT」:リピート切替
「RANDOM」:ランダム再生切替
「OSD」:再生情報表示

② 入力選択画面(ホーム画面)に戻ります。
③ ビデオセットアップ画面(画面調整)に切り替わります。
④ DVDセットアップ画面に切り替わります。(27ページ参照)
⑤ 数字ボタンが表示されます。
数字ボタンを押すとリモコンの数字ボタンと同様の操作ができます。
⑥ 再生画面に戻ります。
(画面全体に映像が表示されます。)
⑦ 再生/一時停止
⑧ スキップ
⑨ 早戻し/早送り(20ページ参照)

停止をする

CD DVD MP3 SD USB

再生中にリモコンの■ボタンを押します。

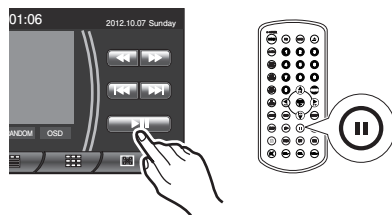
- 映像ディスクでは停止した位置を記憶して停止します（ラストメモリー）。この状態で再度リモコンのENTER▶ボタンを押すと記憶した停止位置から再生を再開します。
- 停止中にもう一度■ボタンを押すと停止した位置の記憶を解除します。
- メディアを出し入れしたときも停止した位置の記憶を解除します。

一時停止をする

再生中に本体ディスプレイの▶❚❚ボタン（リモコンの❚❚ボタン）を押します。

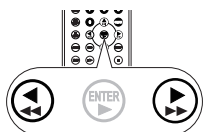
- もう一度▶❚❚ボタンを押すか、リモコンのENTER▶ボタンを押すと一時停止した場所から再生が始まります。

早送り／早戻しをする

CD DVD MP3 SD USB

再生中にリモコンの◀◀、▶▶ボタンを押します。

- ◀◀ボタンを押すと早戻しになります。
- ▶▶ボタンを押すと早送りになります。

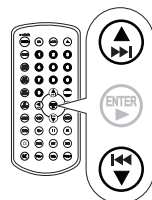
押すごとに早送り／早戻しスピードが切り替わります。

- 2×（2倍速）
- 4×（4倍速）
- 8×（8倍速）
- 16×（16倍速）
- 32×（32倍速）
- 通常再生

■ ディスプレイの◀◀、▶▶ボタンを押しても同様の操作ができます。

スキップをする

次のトラック（チャプター）または1つ前のトラック（チャプター）に飛び越します。

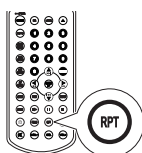
再生中または一時停止中に|◀◀、▶▶|ボタンを押す。

- |◀◀ボタンを押すと1つ前のトラック（チャプター）の初めから再生します。
- ▶▶|ボタンを押すと次のトラック（チャプター）の初めから再生します。

■ ディスプレイの|◀◀、▶▶|ボタンを押しても同様の操作ができます。

CDのリピート再生をする CD

再生中にリモコンのRPTボタンを押します。

再生中のトラックを繰り返し再生します。
押すごとに次のように切り替わります。

- **[トラック]**
  ：再生中のトラックを繰り返す
- **[オール]**
  ：再生中のディスク全体を繰り返す

※本機は通常再生で全曲をリピート再生する設定になっています。

DVDのリピート再生をする DVD

再生中にリモコンのRPTボタンを押します。

再生中のチャプター、タイトルや、ディスクを繰り返し再生します。

押すごとに次のように切り替わります。

- **[チャプター]**
  ：再生中のチャプターを繰り返す
- **[タイトル]**
  ：再生中のタイトルを繰り返す
- **[オール]**
  ：ディスク全体を繰り返す
- **[リピートオフ]**：通常再生

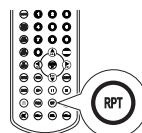
データファイルのリピート再生をする

MP3 SD USB

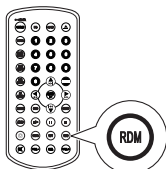
再生中にリモコンのRPTボタンを押します。

再生中のファイルまたはフォルダーを繰り返し再生します。

押すごとに次のように切り替わります。

- **[リピート 1]**
  ：再生中のファイルを繰り返す
- **[全フォルダーをリピート]**
  ：メディア内の全ファイルを繰り返す

ランダム再生をする

再生中のディスクのトラック（曲）またはチャプターを順不同に再生します。

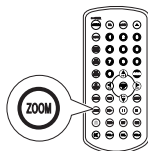
再生中にリモコンのRDMボタンを押します。

■ 再生を停止するか、ディスクを取り出すとランダム再生は解除されます。

映像のズーム機能を使う

映像を拡大することができます。

再生中にリモコンのZOOM(ズーム)ボタンを押します。

ZOOMボタンを押すごとにズームレベルが下のように切り替わります。

- ×2
- ×3
- ×4
- 通常サイズ

■ 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で画面を移動することができます。

数字ボタンでトラック(チャプター)番号を直接入力する CD DVD

リモコンの数字ボタンを押しトラックまたはチャプターを選びます。

- 数字を選ぶときは2桁の数字を押してください。

(例)

トラック2を選ぶ ：「0」、「2」の順に押す。
トラック25を選ぶ：「2」、「5」の順に押す。

■ 2桁の番号を押すとそのトラック(チャプター)から再生が始まります。
■ 1桁の番号を押して、しばらく入力されなかった場合は、その番号から再生されます。
※ リピート再生中は操作できないディスクもあります。

音声言語を切り替える DVD MPEG4

DVDディスクまたはMPEG4に複数の音声が記録されている場合は音声を切り替えることができます。

リモコンのST/AUDIO(ステレオ/オーディオ)ボタンを押します。

押すごとに音声の言語が切り替わります。

表示例

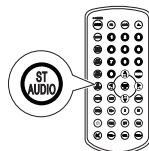
音声　2/2：AC-3　2CH　日本語

■ 出力される言語はディスクに記録されている内容によって変わります。
■ ディスクによって音声を切り替えられないディスクがあります。
※ DTS音声には対応していません。

音声チャンネルを切り替える CD

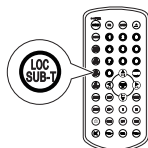
CDの音声チャンネルを切り替えることができます。

リモコンのST/AUDIOボタンを押すごとに音声のチャンネルが切り替わります。音声多重のカラオケディスクを再生するときに便利です。

- [ステレオ]：通常のステレオ再生。
- [MONO 左]：左チャンネルの音声が出力されます。
- [MONO 右]：右チャンネルの音声が出力されます。

字幕を切り替える DVD

DVDディスクに複数の字幕が記録されている場合は字幕を切り替えることができます。

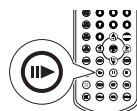
リモコンのLOC/SUB-T(ローカル/サブタイトル)ボタンを押します。

押すごとに字幕の言語が切り替わります。

- ■ 表示される言語はディスクに記録されている内容によって変わります。
- ■ ディスクに記録されている言語数はDVDパッケージに 4 のマークで表示されています。
- ■ ディスクによって字幕を切り替えられないディスクや、字幕を表示しないディスクがあります。

スロー再生機能 DVD MPEG4

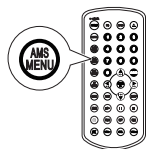
リモコンの❚▶(スロー再生)ボタンを押すと、DVD、MPEG4映像をスロー再生することができます。

押すごとに再生スピードが下のように切り替わります。

- ❚▶ 1/2(1/2倍速再生)
- ❚▶ 1/4(1/4倍速再生)
- ❚▶ 1/8(1/8倍速再生)
- ❚▶ 1/16(1/16倍速再生)
- ◀❚ 1/2(1/2倍速戻り)(DVDのみ)
- ◀❚ 1/4(1/4倍速戻り)(DVDのみ)
- ◀❚ 1/8(1/8倍速戻り)(DVDのみ)
- ◀❚ 1/16(1/16倍速戻り)(DVDのみ)
- 通常再生

DVDのメニュー再生 DVD

DVDにメニュー画面が記録されているときはメニュー画面で色々な選択をすることができます。

DVD再生中にリモコンのAMS/MENU(メニュー)ボタンを押します。

画面にDVDのメニューが表示されます。操作方法はDVD画面の指示に従ってください。

- ■ DVDによっては、再生が始まると最初に自動的にメニュー画面が表示されるものもあります。

DVDのタイトルメニュー再生 DVD

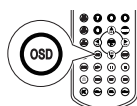
DVDに複数のタイトルが記録されていて、タイトル内のメニュー画面が記録されている場合があります。その場合はタイトルメニュー画面で色々な選択をすることができます。

DVD再生中にリモコンのBAND/TITLE(バンド/タイトル)ボタンを押します。

画面にDVDのタイトルメニューが表示されます。操作方法はDVD画面の指示に従ってください。

画面に再生情報を表示する

CD DVD MPEG4

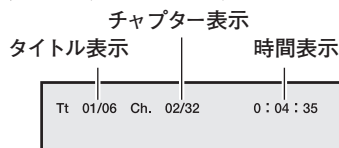
リモコンのOSDボタンを押します。

押すごとに表示が下のように切り替わります。

【CD/MEGP4の時】

- [シングル経過]:再生中のトラックの経過時間
- [シングル残量]:再生中のトラックの残り時間
- [トータル経過]:再生中のディスクの経過時間
- [トータル残量]:再生中のディスクの残り時間
- [ディスプレイOFF]

【DVDの時】

- [タイトル経過]:再生中のタイトルの経過時間
- [残りのタイトル]:再生中のタイトルの残り時間
- [チャプター経過時間]:再生中のチャプターの経過時間
- [チャプター残量時間]:再生中のチャプターの残り時間
- [ディスプレイOFF]

表示例（DVD再生時）

プログラム再生 CD

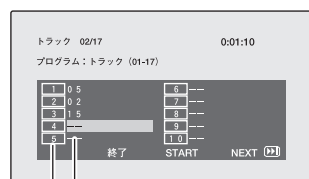
好きなトラックを好きな順にプログラムして再生することができます。

① 停止中にリモコンのPROG（プログラム）ボタンを押します。

ディスクの情報を読み込んだ後停止させ、PROGボタンを押します。

② リモコンの数字ボタンで2桁のトラック番号を入力します。

③ 再生したい順番にトラック番号の入力を繰り返します。

CDプログラム画面例

■ 10番以上プログラムするときは上下方向（▲/▼）ボタンを押し、[NEXT（ネクスト）]を選んでENTER（エンター）▶ボタンを押します。11番から20番までのプログラム番号が表示されます。

■ プログラムは20番までできます。

■ プログラム再生を中止するときは[STOP]または[終了]を選択し、ENTER▶ボタンを押します。

④ [START（スタート）]を選択し、ENTER▶ボタンを押すとプログラム再生を開始します。

⑤ プログラム再生を中止するときは[終了]を選択し、ENTER▶ボタンを押すか、停止（■）またはPROGボタンを押します。

CDを指定した時間にスキップして再生する CD

① リモコンのGOTO（ゴーツー）ボタンを繰り返し押し、指定する項目を選びます。

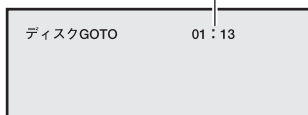
押すごとに表示が下のように切り替わります。

【CDの例】

- ［ディスクGOTO］：再生中のディスクの経過時間指定
- ［トラックGOTO］：再生中のトラックの経過時間指定
- ［トラックを選択］：アルバムのトラック番号を指定

② 数字ボタンを押して時間を指定します。

［入力例］
5分35秒を指定するとき
0、5、3、5の順に入力

表示例（CD再生時）　時間表示

・ディスクによっては操作できない場合があります。

DVDの画面から色々な操作をする DVD

① リモコンのGOTO（ゴーツー）ボタンを繰り返し押し、指定する項目を選びます。

押すごとに表示が下のように切り替わります。

【DVDの例】

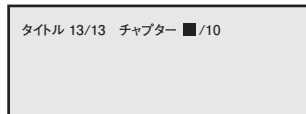
- ［タイトル　チャプター］：再生中のタイトル番号/総タイトル数とチャプター番号/総チャプター数を表示して、チャプター番号を指定
- ［タイトル　タイム］：再生中タイトルの時間を指定
- ［チャプター　タイム］：再生中チャプターの時間を指定

② 数字ボタンを押してチャプター番号や時間などを指定します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

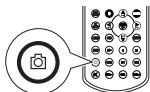
［入力例］
5分35秒を指定するとき
0、5、3、5の順に入力

表示例（DVD再生時）

タイトル 13/13　チャプター ■/10

・ディスクや再生中の位置によっては操作禁止マークが出る場合あります。

画像を取り込む

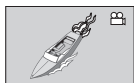
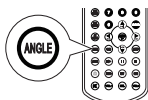
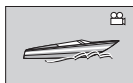
表示中の画像を取り込んで壁紙として表示することができます。（27ページ「Logo Type」参照）

画像を表示中にリモコンの［カメラ］ボタンを押します。

表示中の画像が取り込まれます。

アングル機能を使う DVD

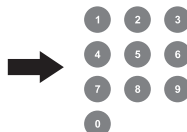
DVDディスクに複数のアングルが記録されている場合は切り替えることができます。

アングルマーク（［アングルマーク］）が表示されているときに、ANGLE（アングル）ボタンを押します。

押すごとにアングルが切り替わります。

アングル1

アングル2

ファイル番号や、経過時間を指定して再生する MP3 JPEG SD USB

① リモコンのGOTO（ゴーツー）ボタンを押します。
押すごとに経過時間とファイル番号が反転表示して切り替わります。

② 数字ボタンで経過時間かファイル番号入力してENTER（エンター）▶ボタンを押します。

経過時間表示

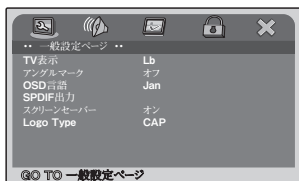
ファイル番号

■ ファイル番号のない場合や、不明の経過時間などは無視されます。

DVDの初期設定を変更する（セットアップ）

セットアップの内容について

セットアップできる項目には次のようなものがあります。

一般設定

テレビ表示（DVDソフトに設定があったときのみ）

接続するテレビ画面の縦横比の設定をします。

- **標準/PS**　：従来のテレビ（縦横比4：3）に接続して使うときに設定します。ワイド画面のソフトは左右をカットし、画面いっぱいに表示します。ソフトによっては上下に黒い帯が出るものもあります。
- **標準/LB**　：従来のテレビ（縦横比4：3）に接続して使うときに設定します。ワイド画面のソフトもそのまま表示して、上下に黒い帯が出ます。
- **ワイド**　：ワイド画面のテレビ（縦横比16:9）に接続して使うときに設定します。

アングルマーク

マルチアングルに対応した画面で、アングルマークを表示するか、非表示にするかを選択します。（26ページ）

OSD言語

モニター画面に表示される言語を設定します。
［英語（Eng）］または［日本語（Jan）］が選択できます。

SPDIF出力（デジタル音声出力の種類）

本機で設定済みのため、特に使用しません。

スクリーンセーバー

壁紙（スクリーンセーバー）の［**オン**］または［**オフ**］を選択します。

Logo Type（ロゴ タイプ）

壁紙をオリジナルの［**初期設定**］か好みの写真を選んで［**Captured**］変更できます。※　画像を変更するときはあらかじめ26ページの「画像を取り込む」手順で取り込んでおきます。

スピーカー設定

ダウンミックス

ディスクの音声を出力するときの設定です。

- **Lt/Rt**　：マルチチャンネルの音声信号をL､Rの2チャンネルでも音響効果が得られるように合成します。
- **ステレオ**　：マルチチャンネルトラックをステレオに振り分けます。

選　択

※ 選択ページは完全停止中(ラストメモリー解除)に設定の変更ができます。
ディスク再生中はメインメニュー画面で選択できません。

オーディオ

音声出力の初期設定言語を設定します。
〔英語〕、〔フランス語〕、〔スペイン語〕、〔中国語〕、〔日本語〕、〔韓国語〕、〔ロシア語〕、〔タイ語〕が選択できます。

サブタイトル

字幕の初期設定言語を設定します。
〔英語〕、〔フランス語〕、〔スペイン語〕、〔中国語〕、〔日本語〕、〔韓国語〕、〔ロシア語〕、〔タイ語〕が選択できます。

ディスクメニュー

ディスクメニューの言語を設定します。
〔英語〕、〔フランス語〕、〔スペイン語〕、〔中国語〕、〔日本語〕、〔韓国語〕、〔ロシア語〕、〔タイ語〕が選択できます。

ペアレンタル

子供に見せたくないディスクの視聴制限のレベルを設定します。
1(KID SAFE)(子供用ディスク)から8(アダルト)(制限なし)まで選べます。視聴制限の操作をする場合は「パスワード」の設定をする必要があります。

※ 視聴制限のあるディスクを再生する場合は4桁のパスワードを入力し、ENTER(エンター) ▶ボタンで確定してください。

初期値

DVDの各種設定を初期状態に戻します。

パスワード

パスワード

パスワードの変更をすることができます。初期値は「8888」に設定されています。

設定メニュー終了

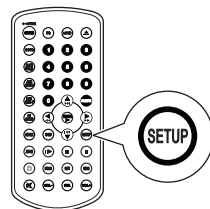
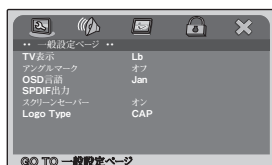
設定メニュー終了

設定メニューを終了します。

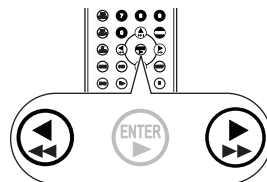
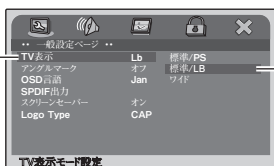
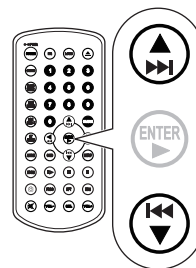
セットアップ画面の操作

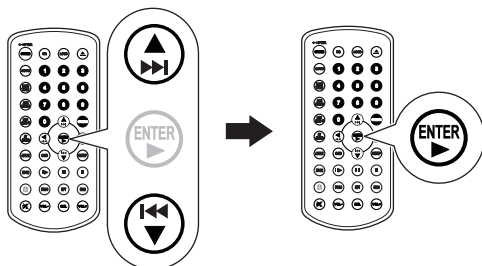
1 リモコンのSETUP(セットアップ)ボタンを押す

一般設定ページが表示されます。

※ ディスクがセットされていない場合は表示されません。

2 左右(◀/▶)方向ボタンを押して、メインメニューを選択する

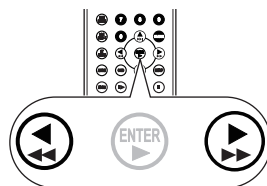
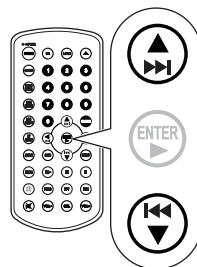
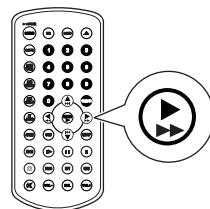
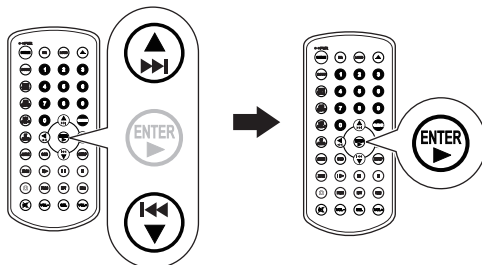
ボタンを押すと下のように切り替わります。

一般設定←→スピーカー設定←→選択←→パスワード←→終了

3 上下方向(▲/▼)ボタンを押して、設定したい項目を選択し、右(▶)方向ボタンを押してサブメニュー設定画面に入る

(一般設定の表示例)

■ メインメニューに戻るときは左方向(◀)ボタンを押します。

4 上下方向(▲/▼)ボタンを押して、設定したいサブメニュー項目を選択し、ENTER(エンター)▶ボタンを押す

視聴制限の設定をする

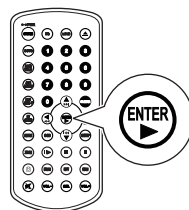
1 セットアップ画面で左右（◀/▶）方向ボタンを押し、メインメニューの「選択」ページを選択する

ボタンを押すと下のように切り替わります。

一般設定←→スピーカー設定←→選択←→パスワード←→終了

2 上下方向（▲/▼）ボタンを押して、「ペアレンタル」を選択する

3 右（▶）方向ボタンを押してサブメニュー設定画面に入る

4 上下方向（▲/▼）ボタンを押して、設定したい視聴制限のレベルを選択し、ENTER（エンター）▶ボタンを押す

5 4桁のパスワードを入力する

■ パスワードの初期設定値は「8888」です。
パスワードを変更する場合は32ページの手順に従って変更します。

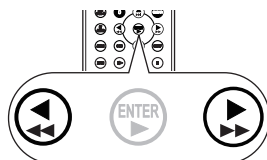
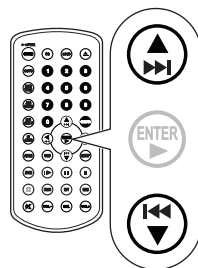
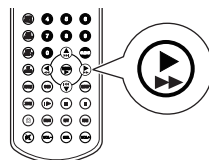
6「OK」が選択されていることを確認して、ENTER ▶ボタンを押す

■ パスワードが間違っているときは設定が変更されずに前の画面に戻ります。もう一度パスワードを入力してください。

【ご注意】
パスワードを忘れるとパスワードの変更や、視聴制限の変更ができなくなります。パスワードを忘れないように十分ご注意ください。

パスワードの変更をする

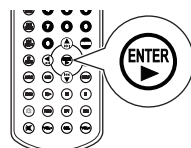
1 セットアップ画面で左右（◀/▶）方向ボタンを押し、メインメニューの「選択ページ」を選択する

ボタンを押すと下のように切り替わります。

一般設定←→スピーカー設定←→基本設定←→パスワード←→終了

2 上下方向（▲/▼）ボタンを押して、「パスワード」を選択する

3 右（▶）方向ボタンを押してパスワード変更画面に入り、ENTER ▶ボタンを押す

4 旧パスワード、新パスワード、確認用に再度新パスワードの順に入力する

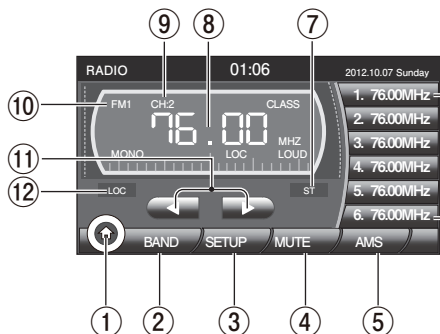
パスワードは4桁を入力すると自動的に次の欄に移ります。

5 「OK」が選択されていることを確認して、 ENTER ▶ボタンを押す

■ パスワードが間違っているときは設定が変更されずに前の画面に戻ります。もう一度パスワードを入力してください。

ラジオ放送を聴く

放送を受信する

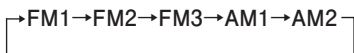
1 本体のSRCボタン、またはリモコンのSOURCE（ソース）ボタンを繰り返し押してチューナーを選択する

下の図のような画面が表示されます。

① 入力選択画面（ホーム画面）に戻ります。
② 受信バンドを選択します。
③ SETUP画面を表示します。
④ 消音します。
⑤ 自動プリセットします。
⑥ 選択バンド内のプリセット周波数表示。
⑦ モノラル、ステレオ切替ボタン。
⑧ 受信中の周波数表示。
⑨ 受信中のプリセット番号表示。
⑩ 受信中のバンド表示。
⑪ 選局ボタン。
⑫ LOC（ローカル）選択ボタン。
（電波が強い局のみを選局します。通常OFFになっています。）

2 画面のBND（バンド）（リモコンBAND（バンド）/TITLE（タイトル））ボタンを繰り返し押して、お好みのバンドを選択する

FM3 バンド、AM2 バンドを選ぶことができます。FM、AM それぞれは同じ周波数範囲ですが、放送局をプリセットして使うときに便利です。（34 ページ～ 35 ページ）

ボタンを押すごとに次のように切り替わります。

→FM1→FM2→FM3→AM1→AM2→（FM1に戻る）

3 選局をする（プリセット選局は34ページ～35ページ）

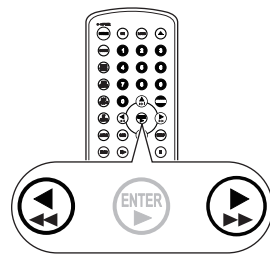
【自動選局をする】

画面の ◁ / ▷ ボタン またはリモコンの左右方向ボタンを「長押し」します。

■ 自動的に放送局を受信して止まります。お好みの放送が見つかるまで操作を繰り返します。
■ 放送局が受信できなかったときは初めの周波数まで一周して停止します。

【手動で選局をする】

画面の ◁ / ▷ ボタン またはリモコンの左右方向ボタンを1回ずつ押します。

■ 1回押すごとに周波数が1ステップずつ替わります。お好みの放送が見つかるまで操作を繰り返します。

ステレオ受信を解除するとき

【ご注意】

FM受信中に電波が弱いときは画面のSTボタンまたはリモコンのST（ステレオ）/AUDIO（オーディオ）ボタンを押し、ステレオ受信を解除すると聞き易くなります。

プリセット選局（放送局をメモリーして選局する）

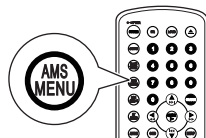
放送局を自動でプリセットする

1 バンドを選ぶ（33 ページ参照）

FM1/FM2/FM3 および AM1/AM2 それぞれのバンドに 6 局ずつプリセットできます。

2 画面の AMS ボタン（リモコン AMS/MENU ボタン）を「長押し」する

AMSボタン（AMS/MENUボタン）を「長押し」するとFMまたはAMの選んだバンドから周波数の低い順に、電波の強い放送周波数を自動的に記憶していきます。

- ■ 途中で終了するときはいずれかのボタンを押すとプリセットが中止されます。
- ■ 以前プリセットされていた周波数は、新しくプリセットされた周波数に置き換えられます。
- ■ プリセットが終わると、確認のためプリセットされた周波数が数秒ずつ受信されます。確認を終了する場合はいずれかのボタンを押します。
- ■ 放送局がプリセット番号全てにプリセットできなかったときは初めの周波数まで一周して停止します。

放送局を手動でプリセットする

お好みの番号に放送局を好きな順にプリセットするときは手動でプリセットをします。

1 放送を受信する（33 ページ参照）

FM1/FM2/FM3 および AM1/AM2 それぞれのバンドに 6 局ずつプリセットできます。

2 任意の番号ボタン（1～6）を“CH”と表示されるまで「長押し」する

押した番号に受信中の周波数がプリセットされます。

- ■ 以前プリセットされていた周波数は、新しくプリセットされた周波数に置き換えられます。

プリセットした放送局を受信する

プリセットした放送局を次のいずれかの方法で受信することができます。

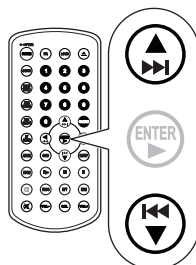
A プリセット番号を押して直接選局する

受信中のバンドでプリセットされた放送局を直接受信します。
バンドを切り替えるときは画面のBNDボタン（リモコンBAND/TITLEボタン）を押して切り替えます。

リモコン

B スキップボタン（|◀◀/▶▶|）を押して選局する

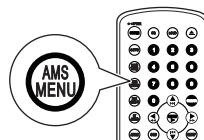
ボタンを押すごとに、受信中のバンドでプリセットされた放送局を順に受信します。

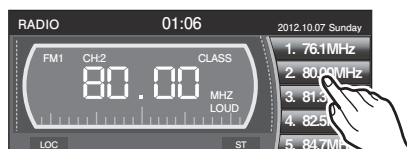
バンドを切り替えるときは本体のBNDボタン（リモコンBAND/TITLEボタン）を押して切り替えます。

C プリセットした放送局を順にスキャンして選局する

① **チューナーモードで画面のAMSボタン（リモコンAMS/MENUボタン）を押す。**

受信中のバンドでプリセットされた放送局を順に5秒ずつ受信します。

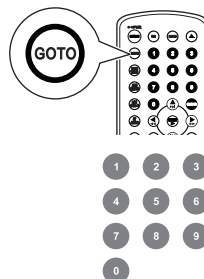
② **聴きたい放送を受信中に本体のAMSボタン（リモコンAMS/MENUボタン）を押すか、または数字ボタンで選局します。**

放送受信状態になります。

D 画面上のプリセット番号を押して選局する

受信中のバンドで画面上のお好みの放送局の番号ボタンを押します。

放送周波数を直接入力して選局する

① **チューナーモードで聴きたいバンドに切り替えて、リモコンのGOTOボタンを押します。**

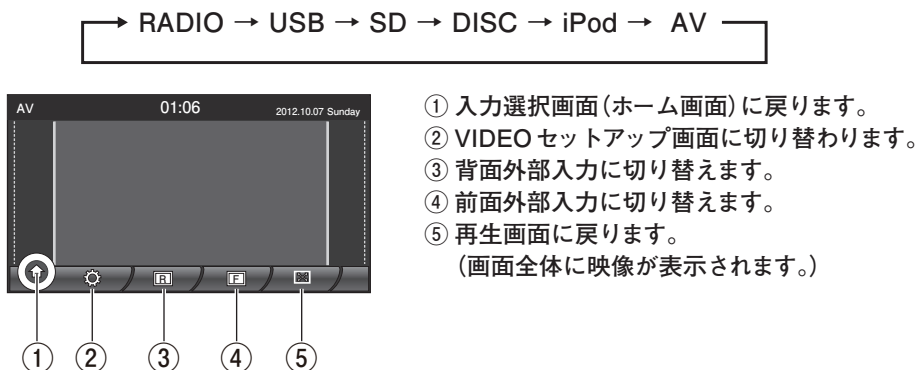
② **数字ボタンを押して周波数を直接入力します。**

4桁の数字を入力します。
（例）AM 954 kHzを入力：[0]、[9]、[5]、[4]と押す。
FM 82.5 MHzを入力：[8]、[2]、[5]、[0]と押す。

AV入力の再生をする

本体のSRCボタンまたは、リモコンのSOURCE(ソース)ボタンを押してAVモードに切り替えます。

ディスプレイにタッチして前面外部入力(F)、背面外部入力(R)を選びます。

→ RADIO → USB → SD → DISC → iPod → AV ─┐（AVからRADIOへ戻る）

① 入力選択画面(ホーム画面)に戻ります。
② VIDEOセットアップ画面に切り替わります。
③ 背面外部入力に切り替えます。
④ 前面外部入力に切り替えます。
⑤ 再生画面に戻ります。
(画面全体に映像が表示されます。)

本機は前面にステレオオーディオ入力を1系統とビデオ入力を1系統、および背面にステレオオーディオ入力を1系統とビデオ入力を1系統備えています。
本機では音量と、音質の操作ができます。(13、14、15ページ参照)

※ 市販のミニプラグ付AVコードはご使用になれません。
前面外部入力端子(AUX)に接続するときは必ず付属のフロントト接続用AVコードをご使用ください。

AV出力をする

本機はオーディオ出力ハーネス、AV出力ハーネスを使用し、外部機器に音声出力、映像出力をすることが出来ます。

※ iPod、ラジオモード、CDでは映像出力はされません。
※ ラジオの音声出力をするときはオーディオ出力ハーネスをご使用ください。

【ご注意】

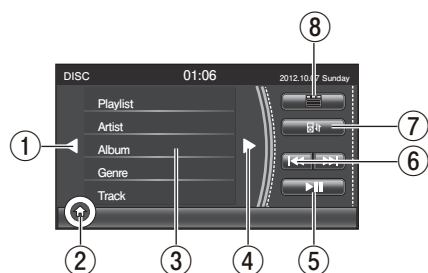
- 接続先のモニター入力感度によって、または複数のモニターに出力する場合は正常な映像が得られない場合があります。
販売店にご相談ください。

iPodを再生する

別売（オプション）のiPod接続コード（部品番号：MA-IP2）が必要です。

1 iPod端子にiPod接続ケーブルを接続し、iPodを接続する。（42ページ参照）

2 入力が切り替わったことを確認する

- iPodを接続すると自動的にiPodモードに切り替わります。
- 他のメディアから切り替えるときは本体のSRCボタン、またはリモコンのSOURCE（ソース）ボタンを繰り返し押して切り替えます。
- iPodのデータ容量によっては読み込みに時間がかかる場合があります。読み込み中に操作すると正常に動作しない場合があります。
- 正常に動作しなかった場合は接続を取り外し、本機とiPodの電源を入れ直してください。

① 前のページ画面に戻ります。
② 入力選択画面（ホーム画面）に戻ります。
③ 情報表示部。タッチするとその項目に進みます。
④ 次のページ画面に進みます。
⑤ 再生／一時停止。
⑥ スキップ（長押しで早送り、早戻しができます）。
⑦ iPodでの操作と本機での操作を切り替えます。
⑧ 押すごとに前の階層に戻ります。
長押しすると最上位の階層に戻ります。

3 再生を開始する／一時停止をする

iPodの再生をするときはiPodで操作するか、本機で操作するか選ぶことができます。

上図⑦のボタンを押すと切り替わります。

- 表示部にファイル情報が表示されます。アーティスト、曲名などお好みのボタンにタッチします。
- ▤（⑧）を押すと前の階層に戻ります。

■ JPEG画像の再生のときは自動的にスライドショー再生（画像が次々に切り換わって再生される）になります。

■ 再生中にディスプレイの▶IIボタン（リモコンIIボタン）を押すと一時停止します。再生を再開するときはもう一度ディスプレイの▶IIボタン（リモコンIIボタン）を押します。

iPodの階層について

本機のiPodメニューは下記のような階層になっています。（Playlistを選んだときの例）

※ iPodは米国その他の国で登録されているApple Computer, Inc.の登録商標です。

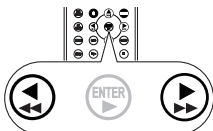
早送り/早戻しをする

再生中のファイルを早送り、早戻しします。

再生中に◀◀、▶▶ボタンを押します。

- ◀◀ボタンを押すと再生中のファイルを早戻しします。
- ▶▶ボタンを押すと再生中のファイルを早送りします。

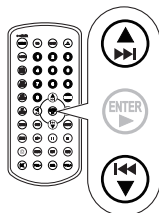
iPodの操作同様、早送り/早戻しは1段階です。

もう一度◀◀、▶▶ボタンを押すと通常再生になります。

■ ディスプレイの|◀◀、▶▶|ボタンを押し続けることで同様の操作ができます。

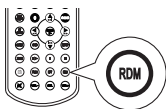
スキップをする

再生中のファイルから、次のファイルまたは1つ前のファイルに飛び越します。

再生中または一時停止中に|◀◀、▶▶|ボタンを押します。

- |◀◀ボタンを押すと再生中のファイルの初めから再生します。
- 3秒以内にもう一度|◀◀ボタンを押すと1つ前のファイルの初めから再生します。
- ▶▶|ボタンを押すと次のファイルの初めから再生します。

ランダム再生をする

iPod内のファイルをランダムに再生することができます。（シャッフルプレイ）

リモコンのRDMボタンを押します。

押すごとに次のように切り替わります。

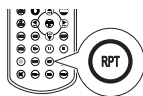
- ⤮:ファイルを順不同に1回ずつ再生します。
- ⤮:アルバムを順不同に1回ずつ再生します。
- ランダム再生を解除します。

※ 一部のiPodではランダム再生時の曲名と曲が異なる場合があります。ご了承ください。

リピート再生をする

再生中にリモコンのRPTボタンを押します。

押すごとに次のように切り替わります。

- 🔂（再生中のファイルを繰り返す）
- 🔁（選択したアーティスト、アルバム、ジャンル等繰り返す）
- 通常再生
（選択したアーティスト、アルバム、ジャンル等が終了すると再生を停止します。）

iPodを取り外すと

iPodのモードになっているときiPodを取り外すとチューナーモードに切り替わります。

故障かなと思ったら

故障かな？と思われる症状でももう一度チェックしてみてください。それでも異常と思われるときはサービスをご依頼ください。

症状	原因	処置	ページ
音が出ない。	・ミュート機能がオンになっている。 ・音量が最小になっている。	・音量操作をしてください。 ・適当な音量にしてください。	13 13
タッチパネルが反応しない。	・タッチパネルの反応位置がずれている。	・入力選択画面、SETUPのSCREEN ADJ機能を操作してください。	15 17
ボタンを押しても動作しない。	・強い外部雑音など何らかの影響でマイコンが動作しなくなった。	・RESETボタンを押してリセットしてください。※	10
リモコンが反応しない。	・電池が切れている。	・電池(CR2025×1)を交換してください。	10
メモリーの内容が消えた。	・電源コードまたはバッテリーが外れた。 ・リセット操作をした。	・接続し直してください。 ・入力し直してください。	42
ディスクが挿入できない。	・ディスクが入っている。 ・強い外部雑音など何らかの影響でマイコンが動作しなくなった。	・ディスクを取り出してください。 ・RESETボタンを押してリセットしてください。※	13 10
音とびをする。	・ディスクが汚れている。または傷が付いている。	・ディスクを清掃してください。または新しいディスクを使ってください。	5
ディスク/メディアの再生ができない。	・ディスクが汚れている。または傷が付いている。 ・対応フォーマット以外で記録されたディスク/メディアを再生しようとしている。	・ディスクを清掃してください。または新しいディスクを使ってください。 ・対応フォーマットで記録し直してください。	5 6
ディスクの読み込みに時間がかかる。	・CPRM対応ディスクでは再生にが始まるまで多少時間のかかる場合がある。	・しばらくお待ちください。	5
画像が出ない。	・ディスクが裏返しにセットされている。 ・走行状態でモニターを見ようとしている。	・ディスクを正しくセットしてください。 ・走行中はLCDパネルには画像出力されません。 (サイドブレーキコントロール)	12 11
映像が止まったまま。	・ディスクが汚れている。または傷が付いている。	・ディスクを清掃してください。または新しいディスクを使ってください。	5

※ RESETを行うとお客様の設定した、各種メモリーが工場出荷状態にリセットされますのでご了承ください。

症状	原因	処置	ページ
字幕が出ない。	・字幕の入っていないディスクを再生している。 ・字幕切替で字幕オフになっている。	・字幕入りのディスクに替えてください。 ・字幕表示をオンにしてください。	23
音声や、字幕が切り替えられない。	・ディスクに複数の音声や、字幕が記録されていない。	・複数の音声や、字幕の記録されているディスクを再生してください。	6
画面のアングルを切り替えられない。	・複数のアングルが記録されていないディスクか、シーンを再生している。	・複数のアングルが記録されているディスク、シーンで操作してください。	6
ラジオの受信がうまくいかない。	・アンテナが正常に伸びていない、または壊れている。 ・アンテナの接続が正しくされていない。 ・放送局のある周波数に合っていない。	・アンテナを伸ばしてください。または新しいものに取り替えてください。 ・アンテナの接続を正しくしてください。 ・放送のある周波数に合わせるてください。	42 33
再生中に電源が切れた。	・セット内の温度が80℃を超えると保護回路が働き電源が切れることがある。セット内温度が下がると正常に作動する。	・セット内の温度が下がるまで少し時間を置いてから電源を入れてください。	

仕様

総合

電源電圧	：14.4 V DC（11-16 V）
アース方式	：マイナスアース方式
最大出力	：40 W × 4
消費電流	：1.5 A（無信号時）
	：11 A（4チャンネル動作、最大出力時、TV動作時）
負荷インピーダンス	：4 Ω
入力インピーダンス	：10 kΩ（AUX IN端子）
トーンコントロール	
バス	：± 7 dB（100 Hz）
トレブル	：± 7 dB（10 kHz）
使用温度範囲	：－ 10 ℃ ～ ＋60 ℃
外形寸法	：約175.8×178×100 mm（奥行き×幅×高さ）
質量（重量）	：約2.33 kg

チューナー部

受信周波数範囲	
FM	：76 - 90 MHz
AM	：522 - 1629 kHz
受信感度	
FM	：16 dBμ（76 - 90 MHz）
AM	：30 dBμ（522 - 1629 kHz）

CD/DVDプレヤー部

音声周波数特性	：20 Hz～20,000 Hz
S/N比	：60 dB以上（1 kHz）
歪み率	：0.3%以下

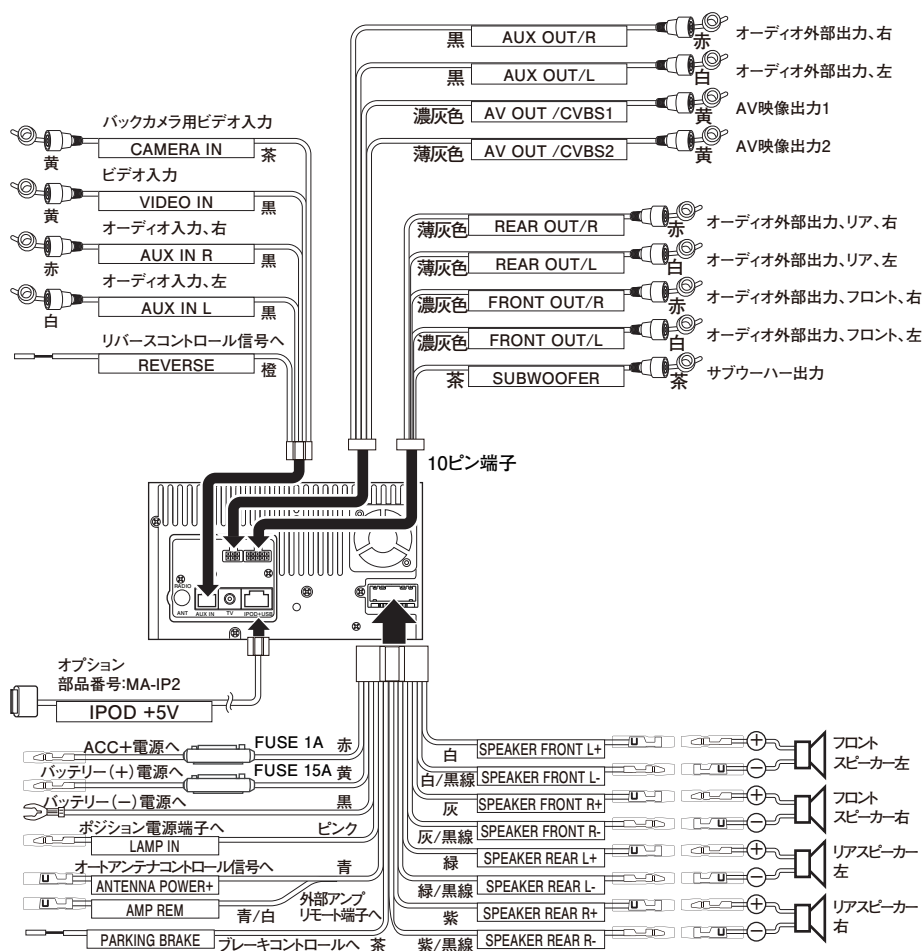
液晶パネル部

解像度	：800×480（WVGA）

本機の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

接続と取り付け

接続と取り付けには専門的知識が必要です。販売店など、専門家にご依頼ください。

接続

※「REVERSE」、「ANTENNA POWER」、「LAMP IN」、「PARKING BRAKE」の働きについては11ページをご参照ください。

【ご注意】

■ ヒューズを交換する場合は切れた原因を解決した上、必ず指定の容量のヒューズと交換してください。
ACC: 1 A,　BATT: 15 A

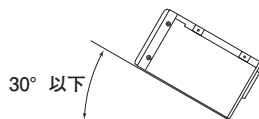
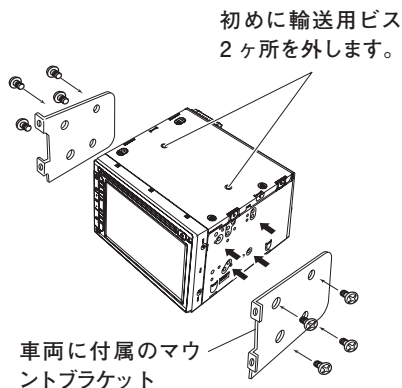
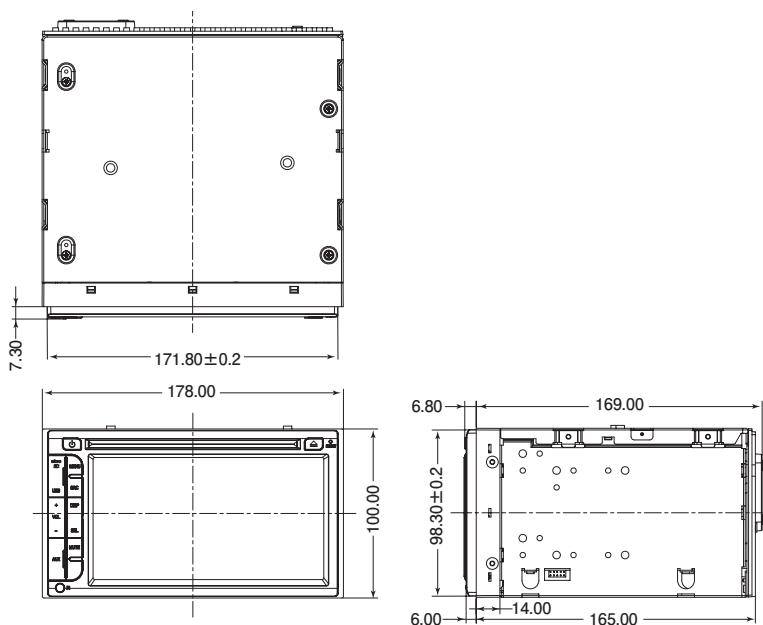
■ 使用しないコードの端子は付属のキャップを被せておくか、または絶縁テープを巻くなどして、ショートしないようにしてください。

本体の取り付け

1 車両に付属のマウントブラケット※のネジ穴に合わせて、取り付け位置を選び、付属の取り付けネジで取り付ける。

※ 車両により別途マウントブラケット（市販品）が必要な場合があります。

【ご注意】
取り付け用のネジは必ず付属の取り付けネジ（M5×6 皿ネジ8本、座付きネジ8本 付属）をご使用ください。

※ 本体は水平に対して 30° 以下の角度に取り付けてください。

外形寸法図

単位：mm

保　証　書

品　番	MA650	品　名	マルチメディアオーディオプレイヤー
保証期間	（お買い上げ日より）**1年間**	お買上げ日	年　月　日
お客様	ご住所　〒		
	お名前（ふりがな）　様	電話番号	

販売店名・住所・電話番号

本書は、本書記載内容（下記記載）で無料保証を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合、お買い上げ販売店またはお客様相談窓口にお申し出ください。

【お客様相談窓口】
エンパイヤ自動車株式会社
0120-557770
※土・日・祝日を除く9:00～12:00、13:00～17:00迄

〈修理保証規定〉

1. 取扱説明書に従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、本機と本書をご持参ご提示の上お買い上げ販売店またはお客様相談センターにお申し出ください。
2. 保証期間内でも、次の場合には、有料修理になります。
   - イ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ロ）ご使用上の誤りあるいは保管・メンテナンス等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
   - ハ）不当な修理や改造による故障および損傷。
   - ニ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
   - ホ）指定された純正部品を使用されなかった時に起因する故障。
   - へ）火災、損害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変あるいは外部要因による故障および損傷。
   - ト）本書のご提示がない場合。
   - ● ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in Japan.）
4. 修理中の代替品貸し出しは行っていません。
5. この保証書は再発行しませんので大切に保管してください。
6. ソフトおよびメディア内に保存されたデータ等は保証対象外となります。

年月日	故障状態および修理内容	担当

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な点がある場合は、お買い上げ販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

Empire Motor Co., Ltd.
本社：〒104-0032東京都中央区八丁堀2-23-1
http://www.empire.co.jp/
お客様相談窓口　（フリーダイヤル）0120-557770
（土・日・祝を除く 9:00～17:00迄 ※12:00～13:00を除く）

R-MAN650